2025年度　自己点検・自己評価結果

基準1　教育理念・目的・育成人材像　2.3

点検中項目【1-1】 理念・目的・育成人材像　2.3

1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□理念に沿った目的・育成人材像になっているか	「理念」に沿って、教育目標を立て積極的に人材の育成に取り組んでいる。 学生が豊かな人間性と専門職業人として十分な知識と技術を備えた看護師になることができるよう教育目的、指針を立てている。	継続	学校のしおり 学校パンフレット ホームページ	3.0
□理念等は文書化するなど明確に定めているか	学校のしおり、パンフレット、ホームページにて明示している。	継続	学校しおり 学校パンフレット ホームページ	3.0
□理念等において専門分野の特性は明確になっているか	専門分野の特性と必要な要素も含み明確	継続	学校しおり 学校パンフレット ホームページ	3.0
□理念等に応じた課程（学科）を設置しているか	できている	継続	学校しおり 学校パンフレット ホームページ	3.0
□理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか	理念を基にしたアドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを明文化し、シラバス、学校のしおりに掲載している。（ホームページにも掲載） ディプロマポリシー達成のためカリキュラムポリシーを基に教育課程を編成しており進度における到達目標を意識して学べるよう、シラバスに定めている。	継続	学校しおり 学校パンフレット ホームページ 授業シラバス 遠隔授業資料	3.0
□理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか	学生には学校のしおりや常に身につける名札に明記するほか、学外にはホームページ及びパンフレットに掲載することで広く周知している。保護者に対しては入学時の教育懇談会にて周知する機会を設けている。	継続	学校しおり・名札 学校パンフレット ホームページ 懇談会資料	3.0
□理念等の浸透度を確認しているか	キャリアプラットホームを活用し年3回および3年生においては卒業時にDPについての評価を実施している。	継続	学校しおり 名札 臨地実習要項	3.0
□理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	地域包括ケアシステム構築を早期に学べるようカリキュラム改正後は地域・在宅看護論を1年次に配置する等、理念の文面に変更はないが社会のニーズに適合するよう教育内容、カリキュラムの見直しを行っている。	継続	シラバス 会議議事録	3.0

1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか	ディプロマポリシーにて示すほか、進度における到達目標と科目ごとの技術到達度をシラバスに明確にしている。	継続	学校しおり シラバス 実習要項 学年到達目標	3.0
□教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	授業シラバスの策定は各担当者が作成。臨地実習指導者や看護師としての専門性を発揮している講師に授講義を依頼している。実習においては指導者にフィードバックを直接受けたり指導者会で意見をいただいている	継続	学校しおり 授業シラバス 実習要項 学年到達目標	3.0
□専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか	兼任教員採用においては、関連施設による後継を 基本とし協力をいただいている。 専任教員について は、関連協会等へ依頼登録をしいる。 また、職員・関連施設からの紹介、紹介業者の活用もしている	継続	講師派遣依頼書 受諾書 紹介内容実績表	3.0
□学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか	実習施設は確保できている 教員・卒業生の努力と施設の本校への協力により 維持できている	継続	実習公文書 実習施設承諾書	3.0
□教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	授業担当者が引率する臨地実習で最新の看護現場を学ぶ機会があることや指導者会などで聞ける意見や関連協会などからの推奨情報を参考にしている。	継続	指導者会議事録	3.0

1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか □特色ある職業実践教育に取組んでいるか	理念の具体化を図り、プロジェクト学習・ポートフォリオの教育手法を導入し維持している。また、本校独自の「身につく力」を明らかにして授業（講義・実習）目標を設定している 上級学年が下級生の支援を行う授業や行事、学校生活が増えてきている 公開性も大きな特徴である	継続	学校しおり 学校パンフレット	3.0

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか　0.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□中期的（3～6年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか □学校の将来構想を教職員に周知しているか □学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議議事録 学校ホームページ	0.0

基準2　学校運営　2.1

点検中項目【2-2】 運営方針　2.3

2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか　2.3

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□運営方針を文書化するなど明確に定めているか	「理念」に沿って、教育目標を立て積極的に人材の育成に取り組んでいる。 学生が豊かな人間性と専門職業人として十分な知識と技術を備えた看護師になることができるよう教育目的、指針を立てている。	継続	管理会議資料	3.0
□運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議資料	0.0
□運営方針を教職員等に周知しているか	管理会議にて決定され、各部署の会議にて周知される。	継続	会議議事録	3.0
□運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	各部署の会議にて適宜確認している。	継続	会議議事録	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

点検中項目【2-3】 事業計画　1.0

2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか　1.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□中期計画(3～6年程度)を定めているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議資料	1.0
□単年度の事業計画を定めているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議資料	1.0
□事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議資料	1.0
□事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議資料	1.0
□事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	管理会議資料	1.0

点検中項目【2-4】 運営組織

2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	理事会資料	
□理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	理事会資料	
□寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	法人変更にともにない、新法人との調整が今後必要となる。中長期的な考えを見出すことが課題と言える。	新法人との調整	理事会資料	

2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか　2.5

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか	管理職が不足していることが課題	管理職不足	組織図	1.0
□現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか	組織図は整備されている。組織規定は内容の見直しを行っている。	組織規定の整備	組織図 各種規定	3.0
□各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか	所掌業務について学則施行細則にて規定されており、見直しを行っている。業務担当は年度末に次年度の業務マトリックスを作成している。事務部門の目標設定が課題。	事務部門の目標設定	教務目標、業務マトリックス	2.0
□会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか	学校施行細則における会議の項目にて決定権限について明確にしている。	継続	細則 各種議事録	3.0
□会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか	作成している。	継続	各種議事録	3.0
□組織運営のための規則・規程等を整備しているか	就業規則について内容が古く法人の運営と齟齬が出ていた規定があったため今年度訂正を行った。 学則施行細則についても見直しを行い整備している。	継続	就業規則 細則	3.0
□規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	内容に変更が生じた際は官公庁に対し必要な手続きをもって改正している。	継続	各種変更申請書類	3.0
□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	他校との事務職員の交流会などで情報を取り入れ資質向上を図っているが事務職員全体に対して明確な指針を持った研修等は行えていない。	継続	業務分担表 マトリックス 研修会報告書	2.0

点検中項目【2-5】 人事・給与制度　3.0

2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	採用の基準・手続きについて規定は整備されている。	継続	職員給与規定 採用面接資料 (履歴書・職務経歴書・資格証・認定証)	3.0
□適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	適切な採用広報は行っており、採用する職員は必要とする能力、経験を有した者を採用している。	継続	細則 採用面接資料	3.0
□給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	整備し、運営している。	継続	職員給与規定 就業規定	3.0
□昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	昇任・昇給の基準規定を定めている。	継続	理事会資料 昇給・賞与通知書	3.0
□人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	人事考課については、均等待遇制としている	継続	就業規則 理事会資料	3.0

点検中項目【2-6】 意思決定システム　2.0

2-6-1 意思決定システムを整備しているか　2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか	財務においては予算計上が課題である	予算計上	管理会議議事録	2.0
□意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか	意思決定の権限は事項によって異なるが明確にしている。	意思決定システムの明文化	管理会議議事録 組織図	2.0
□意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	学校運営上必要となる意思決定の権限は学則に定めるほか学則施行細則にて各種会議、所掌業務の事項にて明確にしている	規則・規定への明文化	管理会議議事録 組織図	2.0

点検中項目【2-7】 情報システム　2.4

2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか　2.4

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか	情報管理システムスクールギアを導入している。個人要録へ学生情報を記載し共有している。 学生への課題や資料の配布にGoogleclassroomを取り入れることで紙媒体での採点や資料の整理に比べ効率化を図っている。	個人要録の電子化	スクールギア Googleclassroom 個人要録	2.0
□情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか	「メール連絡網」を使用して学生への伝達事項を教職員にも周知できるようにしている。 教職員間での情報共有は職員に貸与しているスマートホンにて行っている	あくまで周知可能なツールであるため一方通行の情報伝達となっている	メール連絡網	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

□学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか	課題の提出やタイムリーにコメントを返すことができるようGoogleclassroomを活用しているが指導状況については個人要録を参照するようにしている。タイムリーに反映させるような活用方法はとっていない。 また、学生の出欠管理、成績通知などは未だ紙媒体で行っている。	学生情報のシステム化	スクールギア Googleclassroom 個人要録	2.0
□データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか	学籍情報について変更があった際は担当者によってタイムリーに変更が加えられている。出欠や指導状況は集積した情報をまとめて更新しているためタイムリーに反映させることはできていない。 データのバックアップは定期的に行っている。	職員がタイムリーに情報を共有できるようなデバイスやソフトといった環境を検討	スクールギア	2.0
□システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	セキュリティソフト機器UTMを設置しているほか職員の使う端末にはセキュリティソフトを導入している。	継続	システム資料	3.0

基準3　教育活動　2.7

点検中項目【3-8】 目標の設定　3.0

3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか	「理念」に沿って、教育目標を立て積極的に人材の育成に取り組んでいる。学生が豊かな人間性と専門職業人として十分な知識と技術を備えた看護師になることができるよう教育目的、指針を立てている。	継続	学校のしおり 掲示物 臨地実習要項 シラバス	3.0
□職業教育に関する方針を定めているか	学校のしおり及びシラバスに明示している	継続	学校のしおり シラバス	3.0

3-8-2　学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか	学校のしおり、シラバスに明示しているほか、進度における到達目標をわかりやすく明示するようシラバスを変更している。	継続	学校のしおり	3.0
□教育到達レベルは、理念等に適合しているか	教育理念を基に学年別の到達レベルを設定している	継続	学校のしおり	3.0
□資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか	就業年数に応じて明示している	継続	学校のしおり 学科別シラバス　教員の管理業務とマトリックス	3.0
□資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	修業年数に応じて明示している 教員も経験年数に応じて毎年分担し明示している	継続	学校のしおり 学科別シラバス 教員の管理業務とマトリックス 教員ラダー	3.0

点検中項目【3-9】 教育方法・評価等　2.3

3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか　2.8

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか	教育課程編成委員会の意見を踏まえ教務主任と領域責任者・学年主担等が連携すると規定し教育課程を編成している	継続	教員会議、カリキュラム委員会会議議事録	3.0
□議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか	教育課程の編成に関して明確に示している	継続	各委員会議事録　教員会議録　シラバスマトリックス	3.0
□授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	授業科目は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野を明確に配分している	継続	学校のしおり	3.0
□授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか	105単位すべて必修科目としている	継続	学校のしおり	3.0
□修了に係る授業時数、単位数を明示しているか	学則、学校のしおり、シラバスに明示している。	継続	学校のしおり シラバス	3.0
□授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか	授業科目の目標は学校のしおり、シラバスに明記し、年度ごとに内容を検討し改善を行っている。	継続	学校のしおり	3.0
□授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	授業科目の目標に沿って工夫している	継続	学校のしおり	3.0
□授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか	目標にそって工夫し、領域責任者と連携を取りながら評価している	継続	学校のしおり	3.0
□職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	適切に配分している	継続	学校のしおり シラバス 研究授業	3.0
□職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	臨地実習施設との指導者会を通じて現場の意見を取り入れ、実習準備、指導内容に反映させている。	継続	学校のしおり シラバス 研究授業	3.0
□単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか	再履修対象者においては履修登録を必要としており、自己の履修に責任をもつことができるように指導・相談を行っている。	継続	学校のしおり	3.0
□授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか	シラバスを作成し授業内容をコマ数ごとのスケジュールで明記している。	継続	学年別シラバス	3.0
□教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか	カリキュラム改正に合わせた見直しを実践しているがその後見直しをしていない	カリキュラム評価の時期検討	学年別シラバス	1.0

3-9-2　教育課程について外部の意見を反映しているか　1.7

2025年度　自己点検・自己評価結果

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか	アンケートは実施しているが、反映、共有は十分ではない。また、分析も十分ではない。	講義アンケート ホームカミングデイ資料　卒業生を追跡し，状況の把握	講義アンケート ホームカミングデイ資料	1.0
□教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか	カリキュラム編成委員会にて実習病院などから意見をいただき、カリキュラムの編成に落とし込んでいる。また、研修や学会にて情報収集を行い伝達講習を行っている。	講義アンケート ホームカミングデイ資料　卒業生を追跡し，状況の把握	副学校長会、実習調整者会、教務主任会議事録、カリキュラム編成委員会議事録 研修法億書、伝達講習	2.0
□職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	卒業生の多くは実習病院に就職しているため実習指導者会を通じて卒業生及び実習指導者からの意見を取り入れている。	講義アンケート ホームカミングデイ資料　卒業生を追跡し，状況の把握	実習指導者会議事録 ホームカミングデイ	2.0

3-9-3　キャリア教育を実施しているか　2.3

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか	ディプロマポリシーの記載と共にシラバスの他キャリアプラットフォームに定めている ホームページ及びパンフレットに掲載することで学外にも周知している。	継続	キャリアプラットホーム・シラバス・ホームページ	3.0
□キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	看護師キャリア支援の授業科目を構成しキャリア教育へとつなげている。	継続	シラバス	3.0
□キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	臨地実習施設に就職する卒業生が多くいるため指導者会や臨地実習の現場で話を聞くことはあるが調査やアンケートはとっていない。	卒業生・就職先の意見聴取	キャリアプラットホーム シラバス	1.0

3-9-4　授業評価を実施しているか　2.3

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□授業評価を実施する体制を整備しているか	評価結果、授業内容は毎年度科目ファイルに保管している。	授業評価の整備、アンケートの回収率	科目ファイル	3.0
□学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか	学生に対してアンケートを取り、科目担当者が振り返りを行っている。	授業評価の整備、アンケートの回収率	講義アンケート	2.0
□授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか	臨地実習に対するアンケートの実施は行っていない。指導者から意見については臨地実習指導者会にて行っている。	関連業界との協力体制の強化	各臨地実習アンケート	2.0
□教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	科目担当者がアンケートの結果などから授業改善を行っている。	授業改善の経過確認	講義アンケート・研究授業	2.0

点検中項目【3-10】 成績評価・単位認定等　3.0

3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか	成績評価基準、単位認定基準は学則及び細則にて規定している。学生には学校のしおりにて明示している。	継続	学則 細則 学校のしおり	3.0
□成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか	授業評価結果においては必要時教員会議などを開催し公平性と客観性の確認を行っている。	継続	教員会議	3.0
□入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	他の教育機関での既修得単位は毎年年度初めに新入生の申請に応じ認定を行っている。また、学則に規定し、学校のしおりにて明示している。	継続	学校のしおり	3.0

3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	毎年関西看護研究大会に3年生代表が発表を行い、発表者以外の学年の学生も参加していたが今年度は参加していない。今後も参加については検討していく。学内では看護の道の発表会を通して自己の看護観、成長を明確にしている。	継続	関西看護研究学会抄録 看護の道発表会	3.0

点検中項目【3-11】 資格・免許の取得の指導体制　3.0

3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか	地域社会における看護師の役割、理想とする看護師像に至るまでの到達目標を科目、各学年毎に明示している。	継続	学校のしおり・臨地実習要項	3.0
□資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	看護師国家試験合格に向けて学習支援や模試の機会を設けている。	継続	国家試験スケジュール	3.0

3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか	特別講座、補習やグループ学習を実施している 。 また、学内の空き教室を開放し自己学習に専念できるよう整備し国家試験担当教員と3年生担当教員が適宜個人指導できるよう教員を配備している。 成績低迷者に対しては強化講座を行っている。	国家試験合格率向上に向けた見直し	時間割 年間行事予定	3.0
□不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	卒業後も学習が継続できるよう図書室の利用、学習相談対応を常に行っている。	継続	管理日誌 外来者名簿	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

点検中項目【3-12】 教員・教員組織 2.2

3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 2.5

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	資格及び実務経験をもとに採用している。また、授業指導担当教員には専門的知識と指導力を加味し選出している。	継続	教員ラダー 面接	3.0
□授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	授業科目における実務経験又は専門的知識を有していることを確認している。	継続	教員名簿 教員ラダー 面接	3.0
□教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	新しい情報を臨地実習の指導や研修の中で取り入れ、領域担当に分かれ情報・知識を共有している。また、教育ラダーに沿って面談を行い業界での適合性を確認している	キャリアの向上。退職者防止。 研修等の参加	教員名簿 教員ラダー 面接	2.0
□教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか	関連業界からは専門知識、実務経験を有する医師、看護師を招き採用している。5年以上の教員経験をもつ教員が減少している。	キャリアのある教員の不足		1.0
□教員の採用計画・配置計画を定めているか	看護専門領域への担当配置、学内・実習指導配置を満たすよう採用計画を立てている。	継続		2.0
□専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか	年齢、性別を問わず学生に等しく指導できるよう教員の比率を維持している。 科目、領域の担当は掲示するが年齢構成や男女比に関しては関係省庁に明示している。	継続	教員名簿	3.0
□教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	カリキュラムに支障がないよう看護領域、授業担当者を満たすよう採用している。採用、評価に関しては職務規定に定めている。	見直し		3.0
□教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	年度末に担当授業配置を定める際に把握している。	継続	授業担当者表 シラバス	3.0

3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか 1.8

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□教員の専門性、教授力を把握・評価しているか	授業アンケート、学生からの意見をもとに把握・評価し、必要があれば改善に努めている。	研究事業の継続	教員名簿 教員ラダー 面接 研究授業	2.0
□教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか	今年度より、学内においては質向上、意識向上に向けて月１回勉強会を設けた。それにより少しずつではあるが、意識向上に向かっている。外部の研修も周知し促しているが十分に参加しているとは言えない。	予算を含めた研修計画の検討	教員名簿 教員ラダー 面接 研究授業	2.0
□関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか	取り組んでいる	研修の回数検討 教員の資質向上を目指す。	研修報告書 伝達講習	1.0
□教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	年1回研修補助がある	研修の回数検討	研修報告書 伝達講習	2.0

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか 2.4

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか	複数の領域に1名の専門性を持つ教員に頼っている部分がある	継続	履歴書	1.0
□教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか	所掌業務を細則に明示している。担当業務に関してはマトリックスを作成している。	継続	教員の管理業務とマトリックス	3.0
□学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか	領域担当者にて連携し科目を構築している。	継続	学科別シラバス マトリックス　カリキュラム委員会	3.0
□授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか	領域責任者を中心とした会議を行い、授業内容の見直しと改善を図っている。	組織としての取り組みは行えているが、質を上げていきたい	教員会議資料	2.0
□専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	学年主担、領域責任者が中心となり連携・協力体制を意識して取り組みをしている	継続		3.0

基準4 学修成果 2.3

点検中項目【4-13】 就職率 2.8

4-13-1 就職率の向上が図られているか 2.8

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□就職率に関する目標設定はあるか	就職率100％を目指し随時サポート体制の見直しを図っている。	・体制として教員がすべてになっているがマイナビなど就職に関する専門家からの指導が受けられるよう検討したい	学籍簿 キャリアプラット	2.0
□学生の就職活動を把握しているか	学生の就職活動に関しては、学年担当が把握している。就職に関しても状況、日程、合否の報告を受けている。	継続	就職活動状況報告書・教務日誌	3.0
□専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	就職に関しては状況を把握している	なし		3.0
□関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	関連する実習施設に呼びかけ就職ガイダンスを年1回12月に行っている。	なし		3.0
□就職率等のデータについて適切に管理しているか	管理している	継続		3.0

点検中項目【4-14】 資格・免許の取得率 2.5

4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか 2.5

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	国家試験合格率の目標設定は100％にしている。	国家試験対策の体制見直し 合格率上昇に向	国家試験対策に関しての年度初めの資料	3.0
□特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか	各学年に国家試験担当をおき、模擬試験や課題学習会など計画的に行っている。また外部の力を借りながら学年別のテーマでガイダンスを行いモチベーションを高めている。	国家試験対策の体制見直し	特別講座、特別授業、開設一覧表	3.0

□合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	合格実績に関しては毎年合格率、全国水準など比較しデータ管理をしている。	合格率上昇に向けて手法の改善	合格実績・合格率（推移・全国平均との比較表等において、水準や取組結果との関連が確認できる資料）	2.0
□指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	模試の結果等からデータの収集と分析を行い、内容、対象者を絞り込んだ強化講座を行うことで全体の底上げを図っている他、学内テストから苦手ヶ所を割り出し、個人に対して的確な指導を行えるよう体制をとっている。	データ分析し、翌年の国家試験対策に活用する。1～3年次から対策をとる。（合否には生活態度等様々な要因がある）		2.0

点検中項目【4-15】 卒業生の社会的評価 1.5

4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか 1.5

チェック項目	現状		参照資料	評価点
□卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか	全施設は把握しきれていないが実習先へ就職した卒業生の状況は、実習先で確認している。また、一部関連施設より卒後一年目の状況が学校に届く。ホームカミングデイを開催し一部にはなるが卒業生から聞き取りをしている。	状況調査確認	卒業生からの聞き取り	2.0
□卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	学校から卒業生の研究事業等に対する情報収集は行っていない。個人的に聞く程度。 卒業期に卒業文集を提出し評価される者があるため検討。（今年度は行っていない）	就職先との連携を図り卒業生との交流の機会を持ち、情報収集に努める	卒業生就職先との連携、ネットワークの活用	1.0

基準5　学生支援 2.7

5-16　就職等進路 2.7

5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか 2.7

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	学年担当が進路支援を行っている。 ただ体制として教員がすべて担っている。 マイナビなど就職に関する専門家からの指導が受けられるよう検討したい	支援体制の見直し	なし	2.0
□担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	学年での把握をして、会議で状況を報告。教務主任と連携している。就職部門は組織ではなく教員が担当しているのが現状。	進路支援の組織体制の整備	なし	2.0
□学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	共有されている	継続する	就職状況データ	3.0
□関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	インターンシップや募集要項をファイリングして学生が閲覧できるようにしている。	継続する	病院募集要項ファイル	3.0
□就職説明会等を開催しているか	実習病院による病院説明会を学内で開催している。	継続する	病院説明会資料	3.0
□履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	外部の力を借りながら、個人的な指導や模擬面接をおこなっている。	継続する	なし	3.0
□就職に関する個別の相談に適切に応じているか	学年担当が主に個別に相談を受けている。	継続する	なし	3.0

点検中項目【5-17】 中途退学への対応 3.0

5-17-1　退学率の低減が図られているか 3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	退学者数や要因は、教員会議にて報告、共有されている。	退学者の低減に向けた学生サポート体制の強化	個人要録 教員会議議事録	3.0
□指導経過記録を適切に保存しているか	指導記録は随時個人要録に記載している。また、卒業後も5年間保管している。	継続する	個人要録	3.0
□中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	継続に向けたサポートとして学力・学生生活については教員が、経済的な内容は事務が相談に乗れるよう共有している。 必要時ショート会議で伝達、教員会議で共有して連携を図っている	継続する	個人要録 教員会議議事録 教務日誌	3.0
□退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	学生の状況に応じて学年で個別に聞き取り、面談を行っているほか、臨床心理士によるカウンセリングも実施している。 中途退学の理由として挙げられるもので多くは進路変更、学力不足である。進路変更希望者に対してはその後のキャリア形成について確認するなど意欲向上のサポートを行っている。	継続する	個人要録	3.0

点検中項目【5-18】 学生相談 3.0

5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか 3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか	カウンセラーを配置し、相談を行っている。	継続する	学校組織図	3.0
□相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか	相談室を設置し、個室で相談できるようになっている。	継続する	学校のしおり	3.0
□学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか	学校のしおりに記載し、オリエンテーションで説明している。相談室や掲示板に掲示、カウンセラーからのコメントも掲示している。	継続する	学校のしおり 相談室前に日程の掲示	3.0
□相談記録を適切に保存しているか	個人要録またはカウンセリングの記録を保管している	継続する	カウンセラーのカウンセリング記録	3.0
□関連医療機関等との連携はあるか	経済的な相談に対して奨学金の確認をするなど関連施設との連携で対応している。	継続する	なし	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか（現在留学生が在籍なく非該当）

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか	留学生による問い合わせや入学実績はないが、留学生以外の学生と同じく学年担当の教員が行う。	留学生がいない	なし	
□留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか	留学生による問い合わせや入学実績はないが、留学生以外の学生と同じく学年担当の教員が行う。	留学生がいない	なし	
□留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか	留学生による問い合わせや入学実績はないが、留学生以外の学生と同じく学年担当の教員が行う。	留学生がいない	なし	
□留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	なし。留学生による学校見学会の参加や問い合わせはないが、他学生と一律で対応する。	留学生がいない	なし	

点検中項目【5-19】 学生生活　2.7

5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか　2.2

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学校独自の奨学金制度を整備しているか	学校独自の制度は整備していない。	制度の拡充予定はない	なし	1.0
□学費の減免、分割納付制度を整備しているか	4期分割納入の対応。減免制度はない。	学生支援制度の検討	学校案内 パンフレット	2.0
□大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか	災害時などの支援制度は無し。 状況に応じ個別対応している。	学生支援制度の検討	なし	2.0
□全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか	入学時に奨学金の説明と案内をしている。在学中も学生の状況に応じて随時情報提供している。	継続する	学校案内 パンフレット	3.0
□公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか	パンフレットや学校説明会などで日本学生支援機構及び病院奨学金の案内を行っている。また、経済的な不安のある学生に対しては公的支援制度の提案や相談に対応している。	継続する	公的パンフレット、資料	3.0
□全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	日本学生支援機構奨学金はもちろん、病院奨学金に関しては聞き取りを行い14条報告として把握している。	継続する	個人要録	2.0

5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学校保健計画を定めているか	健康診断の年間計画、予防接種の推進	継続する	年間行事予定 時間割 健康手帳	3.0
□学校医を選任しているか	選任している。	継続する	学校組織図	3.0
□保健室を整備し専門職員を配置しているか	学校医を配置し保健室を整備している。	継続する	教員分担役割表	3.0
□定期健康診断を実施して記録を保存しているか	年度初めに定期健康診断を実施している。また、診断結果は健康手帳に記録し、卒業後5年間保管している。	継続する	健康手帳	3.0
□有所見者の再健診について適切に対応しているか	健康診断の結果を踏まえて個別に学生に指導している	継続する	健康手帳 個人要録	3.0
□健康に関する啓発及び教育を行っているか	学年全体として適宜指導、個別対応を行っているほか、感染症に関しては看護師を志すものとして自身だけでなく他者への影響まで意識できるよう啓発及び教育を行っている。	継続する	健康手帳 個人要録	3.0
□心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか	スクールカウンセラーを配置している。	継続する	なし	3.0
□近隣の医療機関との連携はあるか	緊急時には同じ法人の病院にて対応している。	継続する	なし	3.0

5-19-3　学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか	なし	寮の設置はない	なし	
□学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか	なし	寮の設置はない	なし	
□学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	なし	寮の設置はない	なし	

5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか	今年度より自治活動を行える体制を整備した。	実施していない	なし	3.0
□大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか	学校設備、備品の使用を許可している。	実施していない	なし	3.0
□大会成績など実績を把握しているか	現状実績はない	実施していない	なし	3.0

点検中項目【5-20】 保護者との連携　3.0

5-20-1　保護者との連携体制を構築しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	入学時、保護者懇談会を行っている。看護の日を開催し、保護者に案内を配布している。	継続する	懇談会資料 看護の日資料	3.0
□個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	面談は学力、生活面で教員が必要と判断した際に実施するほか、保護者、学生からの希望があれば行われている。記録は必ず個人要録に記載している。	継続する	個人要録	3.0
□学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	学力不振の学生には保護者同席で面談を行っている。その他、問題が生じた場合は学年担当から教務主任に報告し、保護者に対して連絡、必要に応じて保護者を交えた面談を行っている。	継続する	個人要録	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

□緊急時の連絡体制を確保しているか	個人要録に緊急連絡先を記入している。 災害時に学校メールの一斉送信を出来るようにしている。	継続する	個人要録	3.0

点検中項目【5-21】 卒業生・社会人 2.0

5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか 2.8

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□同窓会を組織し、活動状況を把握しているか	同窓会は組織していないが年に一度ホームカミングデイを開催している。	活動状況等情報収集	なし	3.0
□再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか	相談に対して電話・対面で対応している。	継続する	訪問記録	3.0
□卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか	キャリアアップ講座は開講していないが個別の相談に応対している。	希望者が増加すれば検討する		2.0
□卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	研究、学習のための図書室利用を許可している。相談があれば個別に対応している。	継続する	ホームページ	3.0

5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか 1.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか	連携病院と必要性を含め検討中	弘道会でのニーズ確認	なし	1.0
□学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	連携病院と必要性を含め検討中	弘道会でのニーズ確認	なし	1.0

5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか 2.3

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか	学則に則り他校での履修に関して適切に既修得単位認定を行っている。	継続する	既習単位認定書	3.0
□社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか	最大6年まで修業年限可能としている。 長期履修制度は導入していない。	今後ニーズを把握する	学校のしおり	2.0
□図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか	学生一律の対応	今後ニーズを把握する	なし	2.0
□社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	学生一律の対応	今後ニーズを把握する	なし	2.0

基準6　教育環境 2.4

点検中項目【6-22】 施設・設備等 2.2

6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか 2.2

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	施設・設備は設置基準を満たしているがエレベーターがない、男子トイレが少ないなど配慮が必要なてんはある。教材についてはガイドラインに沿った内容を定員が十分に使用できる数を備えているが10年以上使用しているものもあり更新が必要。2年後の校舎移動に向けて検討	・移転に向けた施設・備品の改善点見直し		2.0
□図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	学習支援として図書室の利用、各実習室での自主練習を許可しているほか、課題などに活用できるよう情報処理室にてPCの利用を可能としている。また、国家試験に向けて自習のために演習室を開放している。	継続		3.0
□図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	冊数は14000冊と豊富ではあるが古い図書も多く蔵書としてあるので内容を精査し更新が必要。	図書の見直し		2.0
□学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	教室でも可能なほか、学生の休憩・食事のためのスペースとして多目的教室を利用可としている。 給茶機、電子レンジの使用も許可しているが3学年がそろった環境では混雑することがある。	移転に向けて必要スペースの確認		2.0
□施設・設備のバリアフリー化に取組んでいるか	玄関に段差はなく、階段に手すりがついているが片方のみで、各教室の入り口の段差、4階のスロープ・段差など、バリアフリー化は進んでいない。エレベーターはない。車椅子で使用できるトイレは1階に1か所のみ。自販機が階段の上にある。といった問題がある。	移転後の施設についてバリアフリー内容の確認		1.0
□手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	各階に2か所ずつの手洗い設備（4階は1か所）に加え、各教室、学校玄関に擦式手指消毒剤を常設している。蛇口が非接触式でない、紙タオルを設置していないなど改善の余地はある	衛生面の改善点確認		2.0
□卒業生に施設・設備を提供しているか	卒業後の看護研究などで必要な場合は図書室の利用を許可している	継続		3.0
□施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	水質点検1回／年、消防設備点検2回／年など定期点検実施。 日常的に施設管理人が校内設備の点検・補修を随時行っている。	継続		3.0
□施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	令和10年の学校移転に向けて現状の改善点を反映させられるよう更新計画を立てる	移転に向けた施設・備品の改善点見直し		2.0

点検中項目【6-23】 学外実習、インターンシップ等 2.9

6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか 2.9

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか	シラバス及び臨地実習要項を整え、明確にしている。実習開始前に十分な実習準備の時間を設け同行する教員からも事前学習の確認を行っている。	継続	臨地実習要項 指導要綱	3.0
□学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	実習要項、指導要項を整え、年度毎の見直しを行っている。また、実習オリエンテーション、振り返りにも活用している	継続	実習要項 指導要項	3.0
□関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか	希望者は日本看護学校協議会主催の研修に参加している。	継続	研修報告書	3.0
□学外実習について、成績評価基準を明確にしているか	ルーブリック評価を基盤とした評価基準を設けて評価しているが妥当性について検討し、修正・更新中である。	妥当性検討	実習要項 指導要項 新カリに向けての会議録	2.0
□学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか	各実習機関指導者と内容の充実をはかっている。臨時の指導者会を開催できるよう指導者と調整している。	継続	指導者会予定表	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

□学外実習等の教育効果について確認しているか	各実習科目終了後に学生に実習アンケートをとっている。基礎実習、領域実習終了後は指導者・教員に実習アンケートを実施して評価し、次年度の検討につなげている	継続	実習アンケート	3.0
□学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	学年交流会、新入生への施設案内は企画・運営・評価まで学生主体で実施している。また、看護の日、オープンキャンパスなどの対外的な学校行事でも学生生活の発信に協力を得ている。	継続	見学会資料	3.0
□卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	入学式、卒業式、ホームカミングデーにおいて関連する機関に案内し、連携を確認している。	継続		3.0

点検中項目【6-24】 防災・安全管理 2.1

6-24-1　防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 2.2

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか	自衛防火防災組織と業務分担、消防計画作成・整備している。具体的行動は教員会議などで検討し意識統一は図れているが、紙面上のマニュアル作成には至っていない	マニュアル作成	危機管理マニュアル	1.0
□施設・建物・設備の耐震化に対応しているか	建設当時の旧耐震基準には対応しているが、新耐震基準には対応していない。2018年地震発生後、新耐震基準に対応するための耐震検査を実施し、改善計画を立てている	継続	耐震診断報告書	2.0
□消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか	消防用設備点検2回/年実施し、必要に応じて改善している		設備点検報告書	3.0
□防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか	2回/年学内防火防災訓練及び避難訓練を防災訓練計画書に基づき実施。防災計画書の保存もしている。	記録内容の検討	防災訓練計画	2.0
□備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか	玄関靴箱と学生更衣室のロッカーの転倒防止策実施。学生の机は転倒しにくい形状。そのほかの棚類は転倒防止対策はできていない。	改修計画確認		2.0
□教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	年2回行う防災訓練のうち総合訓練の際に災害時の行動、役割について検討を行っている。 学生には教科外活動として防火防災訓練時に消火訓練実施。			3.0

6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか 2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学校安全計画を策定しているか	現状学校安全計画は策定できていない。危機管理マニュアルも併せて作成する。	安全計画なし	文科省資料	0.0
□学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか	玄関、学生ロッカー室に監視カメラの設置。管理人による見回りと施錠	門扉のロック等改善が見込める		2.0
□授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	危機管理マニュアルに含めて作成する。現状は事故が起こった際近隣病院と連携し対応している。	授業中、針刺し事故以外の事故対応検討、体育時の外傷対応	感染症に対する規定	2.0
□薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか	薬品・針類の物品は施錠できる棚で管理している。使用頻度が少なく使用時のみチェックして管理している	定期的なチェック		3.0
□担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	担当教員の明確化と報連相の徹底をしている。 また、学生はwillに全員加入し、教職員は任意加入だが何らかの形で補償制度に加入することを推奨している。	継続		3.0

基準7　学生の募集と受け入れ 2.6

点検中項目【7-25】 学生募集活動 2.3

7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか 2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか	高等学校での進路相談会については案内があるものについては積極的に参加している。有料の企画については展開できていないので検討する。	有料規格の検討		2.0
□高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか	近隣高校に訪問し前年度結果、当年度の入試について情報発信している。移転に向けて訪問する高校を拡大する必要がある。	訪問高校の検討		2.0
□教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	毎年学校パンフレットの見直しを行い配付しているが対象を教員、保護者に絞った案内は作成していない。	資料の作成検討	懇談会資料	2.0

7-25-2　学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか 2.6

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか	各入試の願書受付日程は出願書類の準備及び入学に必要な手続きを十分に行えるよう設定している。	継続	管理会議資料	3.0
□専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか	基本的には大専各の自主規制に即しているがAO入試のみ独自の設定で行っている。	継続	募集要項 AO入試に関する運営基準	3.0
□志願者等からの入学相談に適切に対応しているか	日程、納入金、手続きについて等の問い合わせが毎年あるが事務にて対応できている。教育内容や進路についての相談は教員が適切に行っている。	○よくある質問に対する回答の周知 ○募集資料への掲載	アンケート集計結果	2.0
□学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか	プロジェクト学習・グループ学習については見学の場を設け、ポートフォリオについても説明している。本校が選ばれる要因としてホームページ及びパンフレットに掲載している。	掲載情報の検討	パンフレット	2.0
□広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	広報に使用する情報の中でも資料やホームページ等公表する内容に関しては担当者同士で確認をとり正確な数字で表すようチェックしている。また、入学実績等は進路相談会や高校教員への説明に活用しているが持ち出しは禁止している。	データの有効活用	高校別入学者数	2.0
□体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか	職員が案内する「学校見学会」、在校生が主体となって案内する「オープンキャンパス」を行っている。早い時期にエントリーが始まるAO入試に関して準備ができるよう学校見学会で入試説明を行うほか、オープンキャンパスでは各演習室で模擬授業を行うことで満足度向上を心掛けている。また、在校生との交流会を行うことで生の意見を知ることが出来る機会としている。	継続	オープンキャンパス資料	3.0
□志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	例年通り社会人入試や二次入試を設けているほか、AO入試を取り入れることで、本校のアドミッションポリシーを理解し看護師になる意欲、基礎能力を備えた学生を選抜する機会を作った。	継続	募集要項	3.0

2025年度　自己点検・自己評価結果

点検中項目【7-26】 入学選考 2.5

7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか	学則施行細則に定めている。	当年度の結果をもって次年度の内容検討	細則	3.0
□入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか	規定に基づき適切かつ公正に行っている。	継続	入試判定会議資料	3.0
□入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	入試判定会議にて規定を定め行っている。	継続	入試判定会議資料	3.0

7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか 2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか	入試結果は年度ごとに統計を取りデータ化している。	継続	入試統計資料	2.0
□学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか	入学者の傾向は毎年統計を取り把握しているが授業方法に関しては一貫性をもって行っている。	-	-	3.0
□学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか	応募者数は明確ではないが前年度受験者数から予測している。	広報との関連性強化	入試統計資料	2.0
□財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	予算の策定から見直しをかける	予算案の見直し		1.0

点検中項目【7-27】 学納金 3.0

7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか	管理会議において明確にしている。	継続	管理会議議事録	3.0
□学納金の水準を把握しているか	把握している。	より広域なデータ収集	管理会議資料	3.0
□学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	ホームページ、募集要項、学則に明示している。	継続	募集要項、HP	3.0

7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか 3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	必要な規定事項は明示している。授業料等の納付時期も決めて適切に行っている。	継続	募集要項	3.0

基準8 財務 2.3

点検中項目【8-28】 財務基盤 2.1

8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 2.2

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	把握している	継続	入試統計結果	3.0
□収入と支出はバランスがとれているか	2年間入学者定員が充足しておらず収支のバランスはとれていない。	バランスととるための収支計画	試算表	0.0
□貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	支出に関しては必要最低限となっているが受験生の減少、退学者の増加により収入が著しく減少している。広報戦略への投資により対策をとる。	コスト意識の共有化	本部資料	2.0
□消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	設備の老朽化、設備更新による支出の増加、受験生減少による収入の減少が大きく影響している。	共有	予算表	3.0
□設備投資が過大になっていないか	設備投資は適切に行っている。	継続	稟議書	2.0
□負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	法人会計より負担しており、負債はない	継続	本部資料	3.0

8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか 2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□最近4年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか	法人経理・会計士によって行われているが学校職員への共有は行われていない	継続	本部資料	2.0
□最近4年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	法人経理・会計士によって行われているが学校職員への共有は行われていない	継続	本部資料	2.0
□最近4年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか	法人経理・会計士によって行われているが学校職員への共有は行われていない	継続	本部資料	2.0
□キャッシュフローの状況を示すデータはあるか	本部経理にて管理している	継続	本部資料	3.0
□教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか	適切な比率について検討が必要	出張資料	試算表	1.0
□コスト管理を適切に行っているか	コストは必要最低限にとどめているがペーパレス化、省エネ機器の利用等検討が可能な点はある	コスト意識強化	支出前年度比較	2.0
□収支の状況について自己評価しているか	法人経理・会計士によって行われているが学校職員への共有は行われていない	適宜是正	管理会議資料	2.0
□改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	例話8年度より弘道会にて運営を行うこともあるため財務計画を立てていく	継続	財務資料	2.0

点検中項目【8-29】 予算・収支計画 2.0

8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 1.5

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点

2025年度　自己点検・自己評価結果

□予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか	前年度の収支をもとに予算編成を行っているため整合性は履かれていない	本部経理から財務状況について共有を得る	本部資料(計画書)	2.0
□予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	明確ではない	本部経理から財務状況について共有を得る	試算表	1.0

8-29-2　予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか　2.4

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□予算の執行計画を策定しているか	法人にて策定されている	本部経理から財務状況について共有を得る	本部資料	3.0
□予算と決算に大きな乖離を生じていないか	生じている	本部経理から財務状況について共有を得る		1.0
□予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか	法人経理にて行っている	本部経理から財務状況について共有を得る	試算表	2.0
□予算規程、経理規程を整備しているか	整備されていない	本部経理から財務状況について共有を得る	本部資料	3.0
□予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理行っているか	法人経理にて行っている	本部経理から財務状況について共有を得る	本部資料	3.0

点検中項目【8-30】 監査

8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	医療法人なので行っていない			
□監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	医療法人なので行っていない			
□監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	医療法人なので行っていない			
□監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	医療法人なので行っていない			

点検中項目【8-31】 財務情報の公開　3.0

8-31-1　私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□財務公開規程を整備し、適切に運用しているか	法人として行っている	継続	有恵会公開資料	3.0
□公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか	法人本部にて作成している	継続	本部飼料	3.0
□財務公開の実績を記録しているか	法人として公開している	継続	有恵会公開資料	3.0
□公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取組んでいるか	法人として公開している	継続		3.0

基準9　法令等の遵守　2.4

9-32　関係法令、設置基準等の遵守　2.8

9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか　2.8

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	学校運営及び諸手続きに関しても適切におこなっている。	継続	公文書 各種届出	3.0
□学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	適切な運用を行っているが整備が必要	継続	学則 細則	3.0
□セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	教職員を含む学校全体のハラスメント規程を作成している。	継続	学校のしおり	3.0
□教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか	学生、教職員が相談可能なスクールカウンセラーを雇用しているほかハラスメント規程に相談窓口を規定している。 また、意見箱を設置することで学生からの意見を教職員で共有している	継続	学校のしおり	3.0
□教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	学生に対し、情報漏えいに関する講義を継続している。また、必要時教員からHRを通じて教育の機会を設けている 教職員に対する研修は行えていない。	教職員への研修	講義資料	2.0

点検中項目【9-33】 個人情報保護　2.0

9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか　2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	細則に定めているが整備と運用に関して周知が必要	規定の整備	細則	2.0
□大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	運用は行っているが規定として定めてはいない	継続	規程	3.0
□学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	セキュリティ機器及びソフトによってネットワークの安全性を保っている。HP上に掲載するデータは厳選している	継続	システム資料	2.0
□学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	情報管理について学生への講義を設けている(授業)情報管理の冊子を学生・教職員に配布、また情報管理が守れていない事象が発生する都度、教育・啓発活動を繰り返し行っている	教職員に対する研修、周知	講義資料	1.0

点検中項目【9-34】 学校評価　2.6

9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点

2025年度　自己点検・自己評価結果

□実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	細則に規定している。	規定整備	細則	3.0
□実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか	自己点検委員会を設置している	点検結果の反映体制	自己点検委員会議事録	3.0
□評価結果に基づき、学校改善に取組んでいるか	重点目標に向けて改善に取り組んでいる。	学校法人での組織共有	自己点検委員会議事録	3.0

9-34-2 自己評価結果を公表しているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□評価結果を報告書に取りまとめているか	公表している	報告書のまとめ検討	前年度まとめ	3.0
□評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	公表している	継続	HP	3.0

9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか　2.5

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	規程を整備して行っている。	なし	細則	3.0
□実施のための組織体制を整備しているか	学校関係者評価規定に定めている	なし	なし	3.0
□設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか	本校の学校運営、カリキュラムに縁が深い実習施設関係者、高等学校関係者、外部講師にそれぞれ1名を選任している。	なし	なし	2.0
□評価結果に基づく学校改善に取組んでいるか	評価結果から改善点を見出し反映させる	課題確認	なし	2.0

9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか　2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□評価結果を報告書に取りまとめているか	取りまとめている。	継続	学校関係者評価結果	2.0
□評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	評価結果はホームページに掲載している。	継続	なし	2.0

点検中項目【9-35】 教育情報の公開　2.0

9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか　2.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか	学校パンフレットやホームページに記載し公表指定しているが情報の更新が必要である。	公開内容・方法検討	学校パンフレット HP	2.0
□学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	学校の状況や授業・教育活動については、SNSを通じて公開している	公開内容・方法検討	HP SNS	2.0

基準10　社会貢献・地域貢献　2.7

点検中項目【10-36】 社会貢献・地域貢献　2.3

10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか　2.3

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか	教育内容の質向上のために実習施設での指導者会を行っている。学校行事を通して地域の方々との交流を目指している。	継続する		3.0
□企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか	情報提供に対する依頼に対しては内容を検討し行っている。連携しての研究等はおこなっていない。	研究に対する検討		0.0
□国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか	委託研究の実績はない。 常勤ではないが高齢者の人材雇用を行っている。	継続する	契約書	2.0
□学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか	卒業生は卒業後も図書室の利用が可能であり、関連業界に対しても提供している。 地域貢献のため近隣施設に対して駐車場を提供している。	継続する	図書利用実績 施設使用依頼書	3.0
□高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか	キャリア企画の依頼に対して積極的に参加している。 （職業説明会）	継続する	広報資料	3.0
□学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか	日程によるが高等学校より見学会の依頼があった際は実習室の紹介と職業説明を行っている。	継続する	広報資料	3.0
□地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか	地域のボランティア等要請のあった講座を行っている。	ニーズの把握		1.0
□環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	省エネルギー対策として節電を心がけるよう周知している。	継続する		3.0
□教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取組んでいるか	個人情報保護、SNSの利用について、人権擁護などを関連授業で行っている。	継続する	講義資料	3.0

点検中項目【10-37】 ボランティア活動　3.0

10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか　3.0

チェック項目	現状	課題	参照資料	評価点
□ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか	新カリキュラムより教科外活動にボランティア活動を取り入れ、多職種とのかかわりや考え方を学ぶ機会を設けている。	継続する	ボランティア資料	3.0
□活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか	実習施設、近隣の団体からの要望がある際は教員がとりまとめ学生に案内し、参加している。	継続する		3.0